

中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	編入学試験
学部（学科/専攻）	経済学部
科目	小論文「経済および経済学の基礎知識」

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

経済の基礎知識

大学編入後に、社会経済に関する実態の把握と様々な政策的課題の解決を目指して、経済学部で身に付けるべきツールの1つとして、経済統計データの見方・使い方を習得することが求められる。今回の試験では、わが国における物価の動向に焦点を当てて、最終消費財と中間財の物価に関する統計指標の基礎知識を問うだけでなく、物価の変動がわが国の家計経済に及ぼす影響とそれに対して採りうる政策について考察する問題を出題した。

経済学の基礎知識

大学編入後すぐに経済学の応用的な科目も履修し、2年間で経済学部をスムーズに卒業できるためには、編入時までにマクロ経済学およびミクロ経済学の基本的内容をひとつおろし勉強しておく必要がある。今回の試験では、ミクロ経済学のうち生産者行動の分野をとりあげた。完全競争・独占・寡占という経済学の重要概念について、その意味と経済的帰結を正確に理解しているかを確かめる問題を出題した。

中央大学 2026 年度特別入試 【出題の意図】

試験方式	編入学試験
学部（学科/専攻）	経済学部
科目	英語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

I

地理、自然、人類学等に関する記事を扱い、一般的な読者を対象にするアメリカの雑誌に掲載された論説文を用いて、学生の読解力を測る問題である。英文和訳（記述問題）、語彙力や文のつながりを問う問題、内容真偽問題で構成されている。

記述問題の評価においては、副詞句で始まる文について、主部と述部を正確に把握し、修飾関係が理解できているかどうかを見るものとする。

II

科学、技術、自然、心理に関する記事を扱い、科学に関心のある一般的な読者を対象にする英国の雑誌に掲載された論説文を用いて、学生の読解力を測る問題である。英文和訳（記述問題）、語彙力や文のつながりを問う問題、内容真偽問題で構成されている。

記述問題の評価においては、挿入句によって主部と述部が前後に分離している文に対して、主部・述部や修飾関係が正確に理解できているかどうかを見るものとする。

III

日本文と英文がほぼ同じ意味になるように空所補充を行わせ、語彙や熟語、文法に関する理解、英文の構成能力を測る問題である。

IV

日本文とほぼ同じ意味の英文になるように、与えられた語を並べ替えて、標準的な英文を完成させる問題で、語彙や熟語、文法に関する理解、英文の構成能力を測る問題である。

V

与えられた日本文とほぼ同じ意味になるように、文法的に正しく、文として概ね自然な英文を完成するための、語彙力や文法知識、英語の運用能力を測る問題である。

記述問題であり、評価においては、主部と述部をどのように設定し、正しく修飾語を付けていくことができるかどうかという英文の構成能力を見ることに加えて、スペリングも含めた基本的な語彙知識についても見るものとする。